

専修大学



〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
TEL: 03-3265-6677 <https://www.senshu-u.ac.jp/>
経済学部、法学部、経営学部、商学部、文学部、人間科学部、
ネットワーク情報学部、二部（経済学部、法学部、商学部）
創立：1880（明治13）年
学生数：1万8559名（2018年5月）



佐々木 重人氏

専修大学 学長

1978年専修大学商学部会計学科卒業。博士（経営学）。
商学部教授、商学部長を経て、2016年9月、学長に就任。
専門分野である会計史に関する著書・編著多数。

TOPICS ①
キャンパスでの国際交流
日本人学生が留学生との交流を深める制度として「キャンパスアシスタント」「レジデント・パートナー」「レジデント・アシスタント」などがある。

TOPICS ②
2020年神田キャンパスに新校舎
新校舎は国際色あふれる学びの場として2020年に運用開始（予定）。

靖国通り神田新校舎（仮称）2020年春完成予定



専修大学国際交流会館にて。留学生とひな祭りパーティー。

2年次前期に海外留学を課し、徹底的な語学力の修得が図られる事前準備と、外国語での専門教育をはじめ、帰国後も言語や異文化に対する理解を深めていくカリキュラムが特色。期間を半年間に設定したのは、留学体験や学内の勉学を通して抱いた関心に沿って「2年度目の留学」を志す学生が4年間で卒業できるようにするためだ。なお、神田キャンパスには

神田新校舎は 国際的な教育拠点

深い人間理解をもとに行動できる人材の育成を目指して2010年に人間科学部を開設。2019年には経営学部ビジネスデザイン学科、文学部にジャーナリズム学科を設置し、独創的な発想から新たなビジネスを生み出せる人材育成や、倫理観に支えられたジャーナリズム教育を実践していく。

「2020年には神田キャンパスに日本語学科、異文化コミュニケーション学科からなる国際コミュニケーション学部の開設を予定しています（設置構想中）。日本を理解・発信する力と異文化を認めながら協調するために何が必要かを洞察できる力身につけた国際人を育成する学部です」

新学部・新学科・新校舎。大学のビジョン『社会知性の開発』を世界に発信する教育・研究環境を創出

専修大学

SENSHU UNIVERSITY

未来戦略のポイント

① 学部・学科の新設・再編

2019年に経営学部と文学部に新学科を開設。2020年には、国際系新学部の設置や商学部の神田キャンパス移設、経済学部の学科再編を構想中。

② 16階建ての高層新校舎が誕生

2020年4月の運用開始に向けて、神田キャンパスに新校舎を建設中。国際色豊かなキャンパスが誕生する。

③ 教育・研究両面の国際化を促進

国際交流センター、社会知性開発研究センターなどを中心に、海外留学や研究交流事業等をさらに活発化させる。

揺るがないポリシーと 他者への共感・理解

「私たちは世界に生かされているのだということを忘れてはなりません」と語る佐々木学長。その真意は、目先の利害や感情に左右されることなく、世界の中の日本という視点から地球規模の課題を考える必要があるということだ。「本学が掲げる21世紀ビジョン

『社会知性の開発』とは、大学で学ぶ知識や技能を自分のためだけに使うのではなく、家族・企業・地域、そして世界に役立てるものと捉えて実践する能力を指します。現代社会の諸課題に立ち向かうために必要な、深い人間理解、倫理観、独創的発想、地球的視野を育むことが大学の使命であり、本学が推進するさまざまな改革は、この4点を具現化したものです」

既存の法学部に加えて生田キャンパスから商学部を移設予定。都心の企業と連携したグローバル・ビジネス教育が実践される。

教育・研究の両面から 国際交流・貢献を推進

一方、学術・文化の幅広い分野を対象に教育・研究活動を推進する「社会知性開発研究センター」では、東アジア地域各国の政府機関や教育・研究機関との交流を活発化させている。

「歴史、経済、社会など、日本に蓄積された知見を活かしてアジア全域の発展に貢献していきたいと考えています。これらのプロジェクトは学生たちの刺激にもなっており、国際貢献の専修、という機運が高まっています」

TOPICS ③ ベトナム、タイに新たな交流拠点

ベトナム社会科学院（ハノイ市）、タイ商工会議所大学（バンコク市）などと新たに協定を締結。国際交流協定は18カ国・地域35協定になった。



TOPICS ④ 社会知性開発研究センターから 世界に発信

社会知性開発研究センターが各地で研究交流事業を推進している。ソウル国立大学アジア研究所で「アジアの文脈におけるソーシャル・ウェルビーイング：比較の視点から」、タイ商工会議所大学で「メコン地域における企業のサプライチェーン展開の実態と展望」をテーマに国際シンポジウムを開催した。



TOPICS ⑤ 海外研修・国際交流奨励制度

自主的に海外研修・国際交流を行う学生を経済的に支援する制度。自ら研修・交流プランを立て、帰国後にレポート提出や報告会で報告を行う。2018年度前期は、学生3名と1団体がカナダやフィンランドなどへ渡航。

